

# いな INAだより

第5号

平成 31 年 3 月作成

編集・発行 出水地区在宅医療・介護連携推進協議会  
事務局 出水郡医師会在宅医療介護支援センター  
TEL 0996-73-2375

出水 Izumi, 長島 Nagashima, 阿久根 Akune の頭文字から「INA = いーな」と名付けました

住民の方が、“病気や障がいがあっても、住み慣れた出水地区で、安心してその人らしく暮らし続けられるよう”医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し体制づくりに取り組んでいます。

## 1. 平成 30 年度 出水地区在宅医療・介護連携推進に係る多職種交流研修会

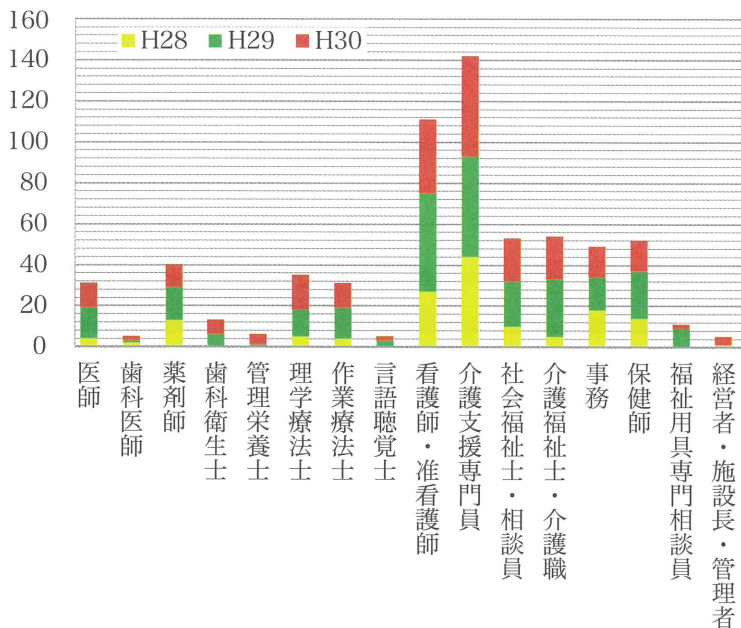
### 【テーマ】

長島町：事例検討 離島での在宅介護を支えるために何が出来るか（家族との関わりを含む）

阿久根市：事例検討 本人の望む在宅での看取り生活の支援体制を振り返って

出水市：情報機器（スマートフォンやパソコン等）の苦手意識を克服し、MCSをもっとスムーズに使いこなそう

### 年度別多職種交流研修会参加職種



▼ 9/19 阿久根市

▲ 7/24 長島町



▲ 11/27 出水市

## 2. MCS（メディカルケアステーション）の現状

平成 28 年 1 1 月から ICT を使った医療と介護の情報共有ツール、完全非公開型医療介護専用 SNS: メディカルケアステーション(以下 MCS と略す)を導入しています。利用者全員が情報共有する場として、出水( I )長島( N )阿久根( A )の地域のコミュニケーションツールとして、**INA サポートライン** と名称をつけました。在宅医療や入退院支援の連携やチーム医療に、その他 1 対 1 でのコミュニケーションに役立てられています。相手の忙しさに関係なく入力でき、入力履歴が残ることにより間違いや聞き間違いを防げます。

平成 31 年 2 月現在の登録事業所数は、72 ヶ所・登録者数 320 名です。

機能の充実や利用事例の紹介等、サポート会社からの情報が充実していますが、使いこなせていないのが現状です。研修後のアンケートでは、利用している 25%・利用したい 23%・興味がある 50%。ほとんどの方が興味を示されていたので、申込みは事業所単位ではありますが、気軽に問い合わせ頂けたらと思います。

★アンケート結果は、ホームページの一部 Q&A として掲載してあります。

施設利用者の日頃の様子や皮膚トラブル等、情報提供も重要だと思った。

MCS は、いつでもどこでも書き込みでき、利用できる。

患者グループでチーム医療を実感できる。

### 3. 出水地区訪問看護事業所等研修会 (H31.1.25 開催)

#### ACPとは・・・

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、患者さん本人と家族が医療者や介護提供者などと一緒に、現在の病気だけでなく、意思決定能力が低下する場合に備えて、あらかじめ、終末期を含めた今後の医療や介護について話し合うことや、意思決定が出来なくなったときに備えて、本人に代わって意思決定をする人を決めておくプロセスを意味しています。

延命治療は受けたくないなあ...



考えや思いを伝える

#### グリーンフケア

～ 樹々ものがたり ～

幹から離れる「葉」は、どのような気持ちなのでしょうか・・・

離れていく「葉」を見送る「幹」は、どのような気持ちだったのでしょうか・・・

#### 散った「葉」の気持ち

僕はまだここにいたいけど、なぜかわからないけど、落ちなきゃならなくなったみたいだ。君たちと離れなきゃならないことは、そりゃ辛い。



ホントはもっと一緒に居たかったのに・・・。なんで自分が散らなきゃいけないんだろう。

後に残っていく者のことを思うと、どうしても自分が先に散ってはいけない・・・

#### 残った「幹」の気持ち

お父さんとお母さんは、あなたを掴み止められなかったことを、とてもとても残念に思います。もっと一緒にいたい。葉っぱに包まれて見守られていたい。



ごめん・・・。

信じたくない。絶対。自分の母さんが死ぬはずがない。どうして？

公益社団法人鹿児島共済会  
在宅ケアサポートみなみ風  
田代 夏子所長



超高齢化(多死)社会を迎えるにあたり、その方がどんな最期を迎えたいか(生きたいか)考える事が当たり前になりつつある。在宅医療もその選択肢の一つではないだろうか。

その方々の人生に寄り添い、支援する看護師としての役割は、やりがいのある職業だと田代所長の事例を通し、共感された方も多かったことでしょう。一人の人生の終末期を支える事は、本人だけでは無く、残された家族の気持ちにも寄り添い、チームで関わる事が重要であると学びました。田代所長は、「あなたに会えてよかった」と言ってもらえる看護を心掛けていると話されていました。

### 4. 出水郡医師会在宅医療介護支援センター活動内容

在宅医療介護支援センターでは、在宅医療の普及活動やINAネット・MCSの広報や登録支援を行っています。

今年度は、地域サロンや民生委員・児童委員、介護福祉事業所研修会、高齢者大学等での講話や出水地区以外からの講演会(南薩医師会・県看護協会)等、広報のチャンスをいただきました。来年度も在宅医療の普及活動に努めていきますので、気軽にお声かけください。

退院支援や在宅療養についての相談対応をしている中では、人生観や本人・家族の心構え、意思決定支援の大切さを学ぶ事ができました。ホームページにて、社会資源リストや研修会のアンケート結果等も掲載していますので、是非閲覧をお願いします。

#### 住み慣れた我が家に暮らし続けるために



出水郡医師会在宅医療介護支援センター  
コーディネーター 宮内 友子



ホームページ  
<http://izumi-zaitaku.com>

#### 地域の医療・介護事業所の方々へ

新規事業所やホームページに掲載されていない事業所、事業内容の変更等ありましたら、随時ホームページへ追加・修正できますので、気軽にお問合せください。

出水郡医師会  
在宅医療介護支援センター

在宅医療相談窓口 0996-73-2375  
受付時間 月～金 8:30～17:00 土 8:30～12:30

HOME 支援センター INAネット 在宅医療推進体制 社会資源リスト お問い合わせ

#### 支援センター

- ごあいさつ
- 事業内容
- 多職種研修会
- 住民講演会

#### INAネット

#### 連携ツール

住み慣れた地域で、安心して暮らせる在宅医療を目指して。

出水郡医師会在宅医療介護支援センターでは、住み慣れた自宅での療養生活を安心して送っていただけるように、医療機関や福祉施設等と連携をとりながら、総合的な支援・相談を行っています。

「病気や障害があっても、自宅で過ごしたい」とご希望の方、在宅療養についてのご質問やお悩みがあればお気軽に出水郡医師会在宅医療介護支援センターまでご相談ください。



医療や介護の連携、在宅支援、医療・介護の心配事等のご質問やご不明な点は、『出水郡医師会在宅医療介護支援センター』へお問い合わせ下さい。

TEL : 0996-73-2375 E-mail [ina@akunehp.com](mailto:ina@akunehp.com)